

自己評価・外部評価・運営推進会議活用ツール

グループホーム小春日和第二

No.	タイトル	評価項目	自己評価	記述	運営推進会議で話しあった内容	外部評価	記述
I. 理念・安心と安全に基づく運営							
1	理念の共有と実践	地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	地域との関係をうたった独自の理念を作り上げている。訪問者の眼に触れる玄関口、職員の眼に触れる食堂、事務室、脱衣場等に掲示し共有して取り組んでいる			
2	事業所と地域とのつきあい	事業所は、利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、認知症の人の理解や支援の方法などを共有し、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	出勤時の挨拶や河合区のお祭りなど、交流もあるが、昔からお付き合いのあった方が亡くなったり、施設に入所されて、近所のメンバーも少しずつ世代が変わっているため、交流が減ってきている。	近所のお祭りで御神輿が来ると、入居者も喜ばれる。		
3	運営推進会議を活かした取り組み	運営推進会議では、利用者やサービスの実績、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	おおむね2か月に1度の開催ができている。開催時には、老人会会長、民生委員、土岐市高齢介護課の職員、近隣の協力者などが参加し課題の報告や話し合いを行っている。	定期的に開催できているので、今後も地域の方々にご協力いただきながら継続していく。		
4	市町村との連携	市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	運営推進会議に参加していただき、事業所の実情などを積極的に伝えており協力関係を築けるよう取り組んでいる。また、ケアマネ協議会主催の研修会に参加できるようにしている。	運営推進会議以外にも、必要に応じて連絡・相談ができているので、協力関係が築けている		
5	身体拘束をしないケアの実践	代表者および全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	3か月に1度、委員会を開催しており、身体拘束の対象となる行為について随時話し合い、職員は十分理解している。普段のケアの中で常識的な基本事項として取り組み、日常的に拘束に該当していないかを確認している。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
6	虐待の防止の徹底	管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃されることのないよう注意を払い、防止に努めている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	職員が理解できるよう定期的に繰り返し研修を行っている。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	

7	権利擁護に関する 制度の理解と活用	管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	☒ A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	該当するケースがある時にはその都度制度について学び直し理解をすすめている			
8	契約に関する説明 と納得	契約の締結、解約また改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	☒ A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	重度事項説明書及び契約書により十分な説明を行う他、事業所のケアに関する考え方、リスク、医療連携の実際、重度化について同意を得るようにしている。			
9	運営に関する利用者、 家族等意見の反映	利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	☒ A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	面会時、電話連絡時に積極的に聞く機会を作るようにしている。また出された意見や要望は代表にあげ、随時話し合い対応している。		☒ A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
10	運営に関する職員 意見の反映	代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ケアカンファレンスの他、日常的 コミュニケーションをはかり意見や提案を運営に反映させている。			
11	就業環境の整備	代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	☒ A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	職員の能力や努力を把握し、給与に反映させており、やりがいや向上心が持てるように職場環境や条件の整備に努めている。		☒ A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
12	職員を育てる取り組み	代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	一人一人の力量を把握し、適切と思われる研修を積極的に受講できる機会を確保している。学んだ事は研修報告としてカンファレンス等で発表できるようにしている。		☒ A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	技量や経験を見ながら、個別に研修の提案をすることができている。
13	同業者との交流を 通じた向上	代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	A. 充分にできている B. ほぼできている ☒ C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ケアマネ協議会や土岐市事業所連携会の施設部会を通じ同業者と交流する機会は作っているが、参加できないこともある。			
14	本人と共に過ごし 支えあう関係	職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	理念にも「してあげる介護から、生きることへの支援を」とうたい、介護される一方の立場におかず共に支えあうように意識して取り組んでいる。			

15	馴染みの人や場との関係継続の支援	本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	来所する美容師、理容師とは長年の馴染の関係となっている。また毎週日曜日に友人とモーニングすることを続けている利用者もみえ、関係を継続できるように支援している	時々面会に来られたり、外出される方もいる。他の入居者の面会に来られたご家族とコミュニケーションができる場合もある。		
II. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント							
16	思いや意向の把握	一人ひとりの思いや暮らし方、生活環境、一日の過ごし方の希望や意向の把握に努めている。	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ご本人からの希望や思いを聞く機会を意識的に持つように努めている。入浴時の会話、日常の何気ない一言などで意向を把握し希望に近づけるよう努めている。			
17	チームでつくる介護計画とモニタリング	本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	毎月担当者がモニタリングを行い、必要に応じて介護計画の見直しをしている。本人や家族の希望、職員や専門職の意見を取り入れ介護計画を作成している。	施設ケアマネが定期的モニタリングを行うとともに、他の職員の気付きも取り入れてプランを検討、改善している。	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
18	個別の記録と実践への反映	日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	個々の介護日誌をはじめ各記録により職員全体が全員の情報を共有して、個別のケア、介護計画に反映させている。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
19	一人ひとりを支えるための事業所の多機能化	本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	本人から生まれるニーズに対応できるよう随時観察、見守りをして柔軟な考え方で対応できるよう取り組んでいる	入居者どうしの会話から、レクのヒントが得られることもある。		
20	地域資源との協働	一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	今は少ないが時々ボランティアに来て下さる事もある。常日頃近所の方には見守りと災害時の協力をお願いしている	最近、ボランティアを希望される方も少しずつ増えており、なるべく来ていただけるように、と思っている		
21	かかりつけ医の受診支援	受診は、本人及び家族等の希望を大切に。納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	在宅医療専門医の往診を中心に、柔軟に対応が来ている。連携歯科医の往診や歯科衛生士による月1～2回の口腔ケアも行っている			
22	入退院時の医療機関との協働	利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入院時には病院に対して必要な情報を提供している。退院にあたっては病院の医療連携相談室と話し合いをおこない、スムーズに移行できるよう対応している。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	

		努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。					
23	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援	重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	☒ A. 充分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	重度化対応・終末期ケアに対する対応方針が作成されている。本人や家族には、24時間対応の在宅医療専門のクリニックとの契約により医療的フォローが可能で、家族の協力の必要性についても説明し理解を得ている		☒ A. 充分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	
24	急変や事故発生時の備え	利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	☐ A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	定期的に救急救命講習に参加している。ヒアリングがあるたびに初期対応について勉強し、実践力・知識の獲得に努めている。			
25	災害対策	火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	☐ A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	年に2回避難訓練を実施している。日中や夜間、火災や地震など様々な場面を想定し利用者の誘導順番や避難経路、時間をはかる訓練をしている。地域の方には機会があるときに協力をお願いしている。	定期的な避難訓練や備蓄品の見直しなどこまめな取り組みが重要。	☐ A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援							
26	一人ひとりの尊重とプライバシーの確保	一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	☒ A. 充分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	プライバシーに配慮がある時には居室で一人の時に話をしたり、耳の遠い方には本人の耳元で声を掛けたり、誇りを傷つけないようなケアが自然に行われている。		☒ A. 充分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	
27	日々のその人らしい暮らし	職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりの日常生活における希望や意向、暮らしのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	☐ A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	毎日の日課は決まっているが、一人一人の心身の状態やペースに合わせ、出来るだけ希望に沿った過ごし方をしていただけるように支援している。			
28	食事を楽しむことのできる支援	食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	☒ A. 充分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	準備や片付けを一緒にできる方は限られている。好みに合わせて肉を魚に変えたり、食事に楽しみを持って頂けるようにしている。職員と利用者は一緒に食事をして楽しい雰囲気づくりを心がけている。		☒ A. 充分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	

29	栄養摂取や水分確保の支援	食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	☒ A. 充分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	食事は高齢者食の献立で食材が届くシステムを導入しておりバランスは良い。食事量や水分量は記録により把握し職員間で共有されている。夜間も食堂にお茶を用意し、ペットボトルにお茶を入れて居室へ持って行かれる方もいる			
30	口腔内の清潔保持	口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	☒ A. 充分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	毎食後歯磨きの声掛け、見守り、介助を行っている。夜間義歯をボリデントに浸け洗浄している。毎月1～2回連携医療機関の歯科衛生士による口腔ケアを行い、都度必要なケアの指示を受け毎日対応している。		☒ A. 充分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	
31	排泄の自立支援	排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援、便秘の予防等、個々に応じた予防に取り組んでいる	☐ A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	排泄状況を把握し、失敗が少なくなるようトイレ誘導を行い排泄のサインを見逃さないよう尿意、便意に合わせた誘導を心がけている。夜間も同様で必要な方には時間を見て声掛け誘導している。		☐ A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	ご本人の安心に繋がる場合はポータブルトイレを使用することもあるが、基本はトイレでの排泄習慣がもてるようにケアをしている。
32	入浴を楽しむことができる支援	一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	☐ A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	入浴は週2回を原則としている。本人の体調や意志に合わせて柔軟に対応している。利用者と1対1でゆっくり話しを聞く事の出来る時間となっている。			
33	安眠や休息の支援	一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	☐ A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	なるべく日中の活動を促し生活リズムを整えるよう支援している。また本人の体調や希望を考慮し居室や居間で自由に休息や睡眠がとれるようにしている。			
34	服薬支援	一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	☐ A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	服薬ファイルを作成し職員全体が薬の内容を把握できるようにしている。服薬時には手渡しし服薬ができたか確認している。症状の変化はバイタルチェックやご本人からの訴え等で確認できるように努めている		☐ A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	飲む薬の数が変わると不穩になる方もいるため、薬が変更になる場合は医師とも相談しながら慎重に対応している。
35	役割、楽しみごとの支援	張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	☐ A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	日常生活内で役割作りの支援が出来るように能力や好みの把握をするよう努めている。庭に果実の木を植え、収穫して食べる楽しさを持っていたり出来るよう支援している。歌や散歩など趣味に応じて楽しみ事や気分転換の支援をしている	第二の庭は、みかんなど果物ができたりして、様子を見ながら食べごろが来たら収穫するのを皆さん楽しみにしている。		

36	日常的な外出支援	一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	庭へ自由に出ることが出来るが、敷地の外へは難しい。最近の急激な気温の変化で花見や紅葉狩りもタイミングが合わず難しくなっている。一方で、ご家族の協力で日曜日の朝にモーニングに出かける方や毎週ご自宅に外出される方もいる	喫茶店のモーニングに出かけられている方は、それによって帰宅願望が解消され、落ち着いて過ごせるようになった		
37	お金の所持や使うことの支援	職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ホーム内の公衆電話で硬貨を使用するなど、本人の希望や能力に応じて所持して使えるように対応している			
38	電話や手紙の支援	家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	いつでも電話していただけるよう公衆電話が設置しており、小銭も用意してある。手紙や年賀状を希望される方には切手やはがきを用意している			
39	居心地のよい共用空間づくり	建物内部は一人ひとりの身体機能やわかる力を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。共用の空間が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、一人ひとりが居心地よく過ごせるような工夫をしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	共有の食堂や居間には不要な物を置かず、食卓やソファはゆったりとした間隔で置いてある。窓越しに季節を感じられるようになっており自由にテラスに出て過ごせるようにしている。飾り物や壁飾りで季節を感じて頂けるようにしている		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
IV. 本人の暮らしの状況把握・確認項目(利用者一人ひとりの確認項目)							
40	本人主体の暮らし	本人は、自分の思い、願い、日々の暮らし方の意向に沿った暮らしができている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	日々の会話や発言の中から本人の思っていることを聞き取り、どうされたいのか把握し支援につなげている			
41		本人は、自分の生活歴や友人関係、暮らしの習慣、特徴など様々な情報をもとに、ケア・支援を受けることができている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	本人、家族からの情報をもとに支援している。ご家族から今までやっていたことなので続けて欲しいと言われ続けている方もいる			
42		本人は、自分の健康面・医療面・安全面・環境面について、日々の状況をもとに、ケア・支援を受けることができている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	医師の往診、看護師の健康チェックを受けている。その日の状態を個人記録に記入し、職員で共有している。認知症の症状の変化、体調の変化にも気を配り、常に職員が見守りしている		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	

43	生活の継続性	本人は、自分のペースで、これまでの暮らしの習慣にあった生活ができている	☒ A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	毎日の日課はほぼ決まっているが、それ以外時間は自由に過ごされている。午前中に入浴したい方、自分で洗濯したい方、天気の良い日は布団を干したい方など、出来るだけ対応できるように心がけている			
44		本人は、自分のなじみのものや、大切にしているものを、身近(自室等)に持つことができている	☒ A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ご自宅で使ってたテレビや椅子、枕や毛布を持ち込まれている、衣類も気に入ってきえたものを持ってこられている 仏壇を持ち込まれ、毎夕手を合わせお経を読まれる方もいる		☒ A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
45		本人は、自分の意向、希望によって、戸外に出かけることや、催(祭)事に参加することができている	A. 充分にできている B. ほぼできている ☒ C. あまりできていない D. ほとんどできていない	認知症の進み具合で無理な方もいるが、ご家族の協力で毎週外出されたり、年末 年始はご自宅に戻って過ごされる方もいる。	戸外への外出は、ご家族の協力も必要になるのでなかなか難しい方が多いが、タイミングを決めて定期的に外出される方もいる。		
46	本人が持つ力の活用	本人は、自分ができること・できないこと、わかること・わからないことを踏まえた、役割や、楽しみごとを行うことができている	A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	本人の意思で役割を持って頂いている方もいる そうでない方は本人が言われる事、家族からの情報を把握して役割を持って頂いている			
47		本人は、自分がいきいきと過ごす会話のひと時や、活動場面を日々の暮らしの中で得ることができている	A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	花の水やりをされる方、タオルをきれいにたたまれる方、洗濯物をきちんと干される方、裁縫や物づくりが得意な方など、得意なことをやって頂いている		A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
48		本人は、自分なりに近隣や地域の人々と関わったり、交流することができている	A. 充分にできている B. ほぼできている ☒ C. あまりできていない D. ほとんどできていない	モーニング毎週でかけて地域の方と交流することができている方もみえる	ボランティアやレク等で来られる方との交流を大事にしていきたい。		
49	総合	本人は、この GH にいることで、職員や地域の人々と親しみ、安心の日々、よりよい日々をおくることができている	☒ A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	共同生活を送ることで、同世代の方から良い面でも悪い面でも刺激を受け、出来ることは自分で行い、出来ないことは手伝ってもらい、職員は本人の思いに寄り添い、安心で安全に暮らせるよう努めている	今後も安心・安全に暮らせる取り組みを継続していく。	☒ A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	

